

4月6日(火)加茂地区の小学校で入学式が行われました。ご家族の皆様にとって、大切なお子さんを新しい環境へ送り出す、子育ての節目を迎えたお目出度い行事だったことでしょう。小さな体からはみ出すようなピカピカのランドセルを背負った通学風景は、ほほえましく、「健やかに育て」と思わずにいられません。加茂の子供たちの挨拶はすばらしい」とは地区内外から高く評価されていますが、我々大人たちも改めて気づかされる場所ではないでしょうか。

家庭、学校、そして地域でこの子供たちを素直でノビノビと育んでいくのが大人の責任、だと思います。

ガンバレ里山の宝人たち！
(大曾根里山通信員)

今春入学の新小学二年生を紹介しま〜す

たから ひと

加茂宝人

ピッカピッカのっ!

祝一年生誕生!

加茂里山通信

平成16年
春号

発行
市原商工会議所
加茂青年部

高滝小学校

松崎 俊樹くん
戸谷 智尋くん
丸川 湧介くん
渡辺 凌佳くん
北川 翔子くん
根本 紗季くん
酒巻 賢太くん
御園 康輔くん
渡邊 椋也くん
石橋 りのくん
横山 亜季くん
飯塚 華奈くん
大曾根 美咲くん
藤田 智成くん
平野 美羽くん
石井 結衣さん
担任 川又三知子 先生
補助教員 阿部千保子 先生
十七名



みんな明るくて、とても素直な子供たちです(川又)

白鳥小学校

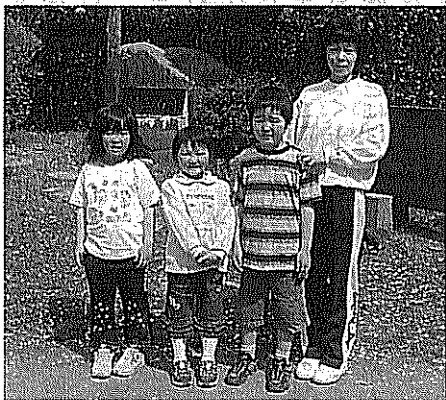
佐久間 祐希くん
平野 茜さん
古宮 瞭汰くん
秋葉 俊樹くん
田川 朋哉くん
小出 亜弥さん
小茶 飛雅くん
担任 谷口清子 先生
七名



明るくて元気いっぱいの子供たちです(谷口)

富山小学校

稲葉 海幸さん
吉野 浩太くん
松葉 未来さん
担任 佐久間ひろみ 先生
三名



のびのびと何でも一生懸命の子供たちです(佐久間)

里見小学校

山田 達也くん
君塚 好花さん
松本 奈津さん
石井 晴菜さん
大岩 蓮くん
武内 響くん
遠山 夏美さん
大沼 裕香さん
田中 七海さん
田邊 千尋さん
篠田 百々花さん
石渡 智央くん
担任 田中誠くん 先生
十三名



みんな運動が大好き、自分のことをきちんと出来るしっかり者ばかりです(南雲)

月出小学校

残念ながら
新入生がありませんでした。

月出小黒沼校長先生のお話

今春卒業生3名を送り出して、5、6年生のみ3名になってしまいました。千葉県で一番小さな小学校ですが、みんな「仲良し、風の子元気な子」を合言葉に頑張っています。

舗装の新提案!

ご自宅の駐車場など舗装をお考えの方へ
コンクリートでもなくアスファルトでもないエコロジー舗装
*現場の土を再利用だから安い
*無害・雑草抑止・カラー・透水施工もできます。

太陽工業株式会社

ISO9001:2000認証 代表取締役 大曾根 友三

〒290-0221 市原市馬立414-1 TEL.0436-95-3023 FAX.0436-95-2235

HP: <http://www.taiyo-ico.jp> E-mail: Info@taiyo-ico.jp

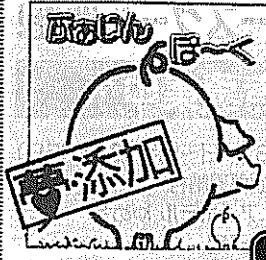
健康でより安全な
豚肉を提供します

ふあいんぽーくでおなじみの

北見畜産(有)

専務取締役 北見則弘

〒290-0534 市原市石神1263



農場
TEL 96-0078
FAX 96-1339
自宅
TEL 98-1980

ウグイスは日ごとにその鳴き声を磨き、新緑の芽も日増しに大きくなつてきて里山の春は目に鮮やかに、耳に心地よくやつてきます。

山菜の採れる季節です。ところで山菜は何が美味しいのか。山菜にも

あるもの、たとえば山ウドのもの、たゞ天ぷらにするとアクが抜けないものになります。(手に入りやすいもの、たとえば、時季に行くとこの行あたりで販売されていて、しかも、(もちろん栽培されたものでしょう)、家に帰ってきてから半日陰の所に植えたところ、毎年芽を出してくれて春先の楽しみを増やしてくれています。つまりこの辺でも育つのだなということがわかります。

このほかに天ぷらにして

すつきりとして、かつ香りは控えめながら含みの深さがあり、喉越しのまろやかな上質の吟醸酒がほしいところです。

おいしそうな話ばかりしていますが、もう一つ忘れてはならないものにタケノコがあります。これも通がいて、初物食いの得意な人は正月からタケノコを食べているといい、現に持つて来てくれたので早速味噌汁にして食したところ、やはりうまい。タケノコは掘つて1時間以内であればアクもあまりなく、本当においしく食べられます。特に味噌汁などにはこの時間内ということが大事で、タケノコだけで十分なだしが出るため、おいしい水と味噌さえあれば誰でも一流の味噌汁が作れます。このタケノコもいろいろな竹のものがあります。代表的なものには孟宗竹がありますが、破竹、真竹、笹竹、それに布袋竹など、中にはこの界限でも秋にタケノコを出す竹もありますが、どこにあるかは言わないでおきます。どのタケノコがおいしいかということになると、又わいわいがやがやとなつてしまふのですが、私見を述べれば布袋竹に軍配が上がるのではないかと思っています。

ただここではつきり述べておかねければならぬ
 いことは、土地にはそれぞれ所有者がいるという
 ことです。もちろん市の土地や共有地もありますが、
 人家の近くの土地はたいして個人の所有地であり（人
 家から離れていても個人所有の土地が多い）、そこ
 に生えているタケノコを勝手にとつていいという
 ものではないということです。この手のトラブル
 は毎年耳にすることで、車ですつてきたものが勝
 手に掘つて積み込んでいったとか、注意をしたと
 ころ居直つて凄んできた、毎年のように同じ人間
 がやつてきて採つていくとか、いろいろあります。

立て札や柵やロープで囲つてある

ところも見かけるようになりました。
又ことはタケノコに限らず、露を刈られて持つて行かれてしまったという話も聞きますし、経験したこともあります。

マナーの問題もありますが、確信犯的に、わかっている勝手に採っていったしまう人もいて、効果的な対策のない今、問題点のひとつです。

食べるものばかりに話は行つてしまいましたが、新緑が芽吹くこの季節は秋の紅葉に勝るとも劣らないと思います。生命力に満ち、目を



守りたい里山の風景

洗われるような新緑の里山を見るのは本当に気持ちのいいものです。森林浴という言葉があるなら、新緑浴という言葉があってもいいような気もする。ほど、新緑の林や森は気持ちのいいものです。山全体を見ると新緑のまだ淡い緑に少し茜色つばい葉をつけた山桜が散見され、花見は桜の花の下もさることながら、山桜があちこちに咲く山全体をながめられる場所です。加茂地区には山桜の咲く小山が多く、山全体を見る花見ができて、これだけは都市部ではできないだろっなあと、思います。

しかし今、里山は確實に荒れてきています。昔里山は庭の延長で、子供たちの遊び場でした。ガキ大将に連れられて山に入り、木登りをし、かくれんぼをし、かけずり回り、そり遊びをし、ターザンごっこをし、暗くなるまでそこで遊んでいたものです。山からは子供たちの歌声が聞こえてきました。が、今はもう

要因がありますが、親が子供を連れて山に入ることがなくなってきたこと、山に気楽に入れなくなってきたことも大きな原因となっています。

「里山は再生するのか？」それはこの加茂地区にとつても課題のひとつですが、全国的にも同じ問題を多くの自治体でかかえています。

毎年里山に春はやつてきて、そのたびごとに新鮮な気持ちと恵みを与えてくれていますが、何も手を打たなければ里山は年を追つとに荒れがすすみます。ますます人の入れないものになってしまう。

どうしたらいいのか。まず考えることから始めなければなりません。

存在することだけではなく、生活の場であつてこそ里山の価値はあるのですから。

(従矢里山通信員)

青年会館所(JC)は「明るい豊かな社会の創造」を同じ理想とし、地域の繁栄と発展に若い気持と情熱をそそぎ、より豊かな社会の実現を目指す20歳から40歳までの次代の担い手たる責任感をもつ青年の団体です。青年は人種・国籍・性別・職業・宗教の区別なく、自由な個人の意志によりその移住する各都市の青年会館所に入会できます。

●第二回いちはらサマースクール ●キッズチャレンジジョブ ●マザーズホームへの訪問
●第六回かずさカップ・わんぱく相撲大会 ●第十二回かずさカップ・少年サッカー大会
●エコフェアへの協力 ●まちづくり推進運動 ●ジェフ市原ホームタウン推進運動
●各種研修会の実施 ●市原小生の翼への協力 他

●例会会場／市原市五井 5584-1 五井グランドホテル
●例会日時／第1例会・毎月第1火曜日 第2例会・毎月第3火曜日 (PM7:30～PM10:00)

ホームページ/ <http://www.ichihara-jc621.or.jp>

■入会資格／市原市内に居住又は勤務する20歳から40歳までの男女

我々と一緒に行動してみませんか詳しくはお気軽にご連絡ください。

会員拡大担当/伊藤まで 電話0436-21-9311(シティライフ株式会社内)

$$\frac{d}{dt} \left(\frac{1}{\sqrt{1 - v^2/c^2}} \right) = \frac{dv/dt}{c^2 \sqrt{1 - v^2/c^2}^3}$$

1

日程	2004年8月4日～8月8日(4泊5日)
場所	沖縄県国頭郡恩納村
宿泊	コンドミニアムホテル ゆめ舎
参加費	74,000円予定
対象	市原市在住、在学の中学校2年生
締切日	2004年5月20日 必着

A black and white photograph of a large group of students and staff posing in front of a building. The building has a sign that reads "Hampden School". In the foreground, a large banner is held up by the group. The banner contains the text "2003年市町村合併記念大会" (2003 City/Town/Village Merger Commemorative Conference) and "十夢創舎の冒険" (Ten Dream Creation House's Adventure). There is also a small logo on the left side of the banner.

(社)市原青年会議所

事務局
〒290-0081 市原市五井中央西1-22-25
TEL.0436-22-4305 FAX.0436-22-4356

「市民会議」見聞録

魅力ある加茂にしよう！ 地域活性化にヤル気満々！！

序章

それは節分も過ぎた2月10日の商工会議所加茂支部役員会で始まった。
「こんな書類がきてっけんがどうすっぺえ」
「あーい？」市原市総合計画の見直しに関する市民会議委員の推薦について「だってエ、ソンなんも若エもんに行ってもうエ」
「そっかい、そっかい」と熱心な議論があり「そっじゃア青年部長行つてくれっけエ？」
「ということで満場一致？を待って市民会議委員を任命いたしました。」
市からの依頼文には「市原市総合計画」の見直し作業にあたり地域に密着した計画作りのため「市民会議」を設置したい。活動は16年2月から約1年。全体会議は5回程度。検討部会は適宜開催。とある。

第1章 本当？

市民の市政への参加と協働を推進し…市民の視点からまちづくり活動を実践するべく「市民まちづくり事業」を提案…地域で活動するNPOや団体を中心に構成し…行政、市民のパートナー制度について市原方式による市民参画のきっかけの場としていきたいと考える。(一部略)

2月24日午後6時半、Y.O.Uホールで第1回会議市内全域から82名が参加。市長の挨拶があり、市役所担当者から今回の市民会議の趣旨説明。

結論は
「地域の活性化が必要↓地域のことは地域の人が一番知っている↓地域でまちづくりに取り組む人が主役」だから市民会議を作った。この会議体で市民事業を提案し、タウンミーティングを行い、地域の人の賛同を得ながらまちづくり事業を実践していくこと。
「行政も総合計画に位置づけてお手伝いしましょう。市民と行政の協働です。」という感じ。



議論白熱の加茂地区会議

これを行政の逃げや無責任とこっちゃんいけません。こんな機会は生かさないや絶対に損です。各地のまちづくり事例を見ると、数人の意欲的な人が何年も掛けて地域の人たちを巻き込み、行政と何度も何度も掛け合って地域の活性化運動をしているのが実態です。

この何度も何度も掛け合う(此処で挫折していき人かなんともいことか)相手がパートナーになりたいたいのですからこんなにありがたいことはありません。

私も市原青年会議所という「まちづくり」を提唱・実践する団体に所属しており、また行政が壁になったときの大変さや味方になったときの強さは痛感しております。

ただし、前提条件として、地域の人たちから賛同をされる、巻き込んでいける企画が出来ればの話ですが…

第2章 加茂会議スタート

3月11日(木)第1回の集まりから2週間と少し午後6時半に集まった十一人の志士たち。数名の欠席はあるもののその顔はやる気だっけいに見えた。(はたして晩飯は食ったのだろうか?)
今回の会議は、加茂の現状把握が目的となる。加茂のいいところは何か、いやなところはどんなことをかきとつても多く挙げていく。以下、出された意見をまとめてみる。

素敵など二つの代表的なものは
*自然環境として

- ・豊かな自然、養老川、溪谷、空気が良い、星が多い、真の闇、騒音が少ない、山・山菜、雉、野鳥、紅葉、四季の景色
- *資源として
 - ・ゴルフ場、釣り場、温泉、宿泊地、キャンプ地、上総掘り井戸、畜産団地、直産店、南部センター、老人ホーム、市民病院、羽田や成田に短時間、家の広さ、田畑
- *交流として
 - ・人のつながり、地区民が通う中学校がある、温帯で人情味がある、地区に愛着、元氣な高齢者が多い等々。
- 気になるところとして挙げたのは
 - *自然の荒廃
 - ・ゴミ、産廃、ダムの上砂堆積、川、ダムの汚れ、田畑、山の荒廃
 - *資源として
 - ・特化させる資源や長所に気づいていない、大福山や温泉街に駐車場が少ない、年寄りの力を生かす努力が足りない、リッター不足、人材が埋もれている、過疎化、少子化、高齢化、若年層の流出
 - *交流として
 - ・人のつながりがありそうだが希薄、閉鎖的、積極的にかかわらない
 - *公共交通
 - ・公共交通の便が悪い、車が無いと生活できない
 - *生活、住環境
 - ・就労場所の不足、防犯の悪化、サル、猪被害、商業の衰退、商業施設の不足、教育への心配、広場等の施設不足、農地が狭く未改善

以上は代表的なものではあるが読者の皆さんも似たような感覚をお持ちではないだろうか。

第3章 思いのたけは？

3月25日(木)今日の参加者は13人。前回の現状把握を参考に、加茂地区への思い、理想の姿、こうしたいなあという各人の熱い思いを語ってもらった。意見が出る出る。事務局はレコーダーやカメラやら用意して準備は怠り無いといった顔だったが、さき議事録の取りまとめは大変だった。

続きは里山通信夏号で…
「市民会議加茂地区部会長 大曾根友三 里山通信では、読者の皆様の意見を募集しています。素敵な地域を創り、未来へ引き継いでいくために積極的にかわつて下さい。」
(大曾根里山通信員)

あさり

あさが美味い季節になりました。四月のあさは殻の中で身がいつぱいに張りつめていて実に美味しいものです。食べ方としては代表的な味噌汁の他に「酒蒸し」「ワイン蒸し」、バター焼き、チャウダー、炊き込み御飯などがあります。さて、あさりの品定めをするときは口がしっかりと閉じているものが鮮度のいい証拠なので、ひとつの目安にして下さい。口が開いていて触ると足をひっこめるようなあさはあまり鮮度がいいとは言えません。

次は産地ですが、実はこれが今私たち魚屋の悩みのタネなんです。最近では外国からの輸入物が増えてきていて、市場でも国産のいいあさは本当に少なくなっています。

当店では5kg入りの箱で仕入れる事が多いのですが、市場でその箱が10箱あるとして8箱が輸入ものというくらいの割合なんです。

輸入ものだから何でも価値が下がるなどとは思っていませんが、あさりの場合は国産のほうが圧倒的に美味しい魚介類の代表選手だと思っております。理由はあさりの住んでいる場所にあります。

国産のあさは砂地に住んでいるので簡単に砂が抜けませんが、輸入ものはぬた地に住んでいるのでどうしても泥臭さが抜けきれません。特に桶に詰めた時にその差がはっきり出るといいます。旨みも香りもまったく別物と言ってもいいくらいです。

最近いつもの問屋さんでいつもの荷主生産者の国産ものを仕入れて店に帰って開けてみたら外国産のあさりと国産のあさが混じっていた事があって本当にがっかりしました。信用あるいつもの荷主さんだったので、フタを開けて中身を確認しなかつた私も不注意でしたが、どうこうこんな事までしなくてはいいなくなつたのかと思うと海の幸で商売している人間として情けなくなつてしまいました。

最後に国産と輸入ものの見分け方を書きます。国産のあさは貝殻の白い部分と黒い部分がはっきりしているんですが、輸入ものは全体に黄色がかつた黒っぽい色なので見比べて頂ければ一目瞭然ですが、自信がなければもっといい方法があります。

それは養老の鈴木魚肉店が川口屋さんにいらして頂ければ国産しかありませんっ！
なんちゃって…
(鈴木里山通信員)



3/27加茂一番乗りの田植えでした
久保 平野元義さんの田んぼ

春の訪れとともに今年も田んぼの季節がやってきました。

三月二十七日、昨日の雨が嘘のようなよい天気の中加茂地区のトップをきって田植えが行われました。久保にお住まいの平野元義さんは、六年前より乳苗農法による田植えですべての田んぼを作っています。ハウスで苗を育てる手間が省けるということですが、その分植えた後の管理など難しい点もあるようです。それにしても、年々早くなる田植えもこの時期に済んでいるとは驚くばかりです。

私自身は米づくりをしていますが、加茂地区では多くの方が稲作をしています。しかしながら若手あるいは後継者不足の問題は、これからどうなるのか本心に心配してしまいます。加茂地区のおいしいお米がいつまでも食べられるように心から願っています。若手の皆さん頑張ってくださいね！

加茂地区限定会話は勝手ながらべっぺ語講座と名前をつけさせていただきます。今回は加茂地区の中でも一部でしか使われていない様です。どこまで地区の人が理解できるか楽しみです。では一卒業式が終わつての会話から

A「はえ、もんだねえ、でえくんとこのせがれも中学だつてよー」 B「中学の制服着てんのみたけえいおつきなつたな」 A「それんしてん、ちつちえいときからはいけいし、どでんがんだつたのがいつのまにか中学とはな！おらほとしとるはすだつて」 B「だけん中学いつたでどでんがんだつたでんがんだつて」ははは…
(戸沢里山通信員)

高滝山 加茂 日鳥山 米米くらぶ

こんなマラソンがあったのか!!

高滝でウルトラマラソン開催!

5/29 ~ 5/30 **24時間走選手権in市原**

5/30 **たかたき湖女子100kmウルトラマラソン**

本邦初のウルトラマラソンが5月29日、30日に高滝湖周回コースで行われます。右記の2つの大会が、一緒に開催されるビッグイベントです。皆様ご存知の通り、高滝湖周回コースは毎年元旦マラソンが行われる様に、走りやすいコースの一つに認められています。そこに「スポーツ・エイドジャパン」という団体が着目し、こんな凄いマラソンを企画した様です。「一昼夜、24時間走り続ける」「百キロメートル走破する」なんて事は、とても想像出来ません。一体どんな人達が参加するのは是非見に行きたいものです。

大会概要

24時間走選手権in市原(男子の部、女子の部)
スタート5月29日午前11時高滝神社前
万が一参加する人は午前10時30分まで受付の神社前
大会本部に参加費5500円(持ち帰り)を
先着50名(切4月30日)
たかたき湖女子100kmウルトラマラソン
スタート5月30日午前5時高滝神社前
もし、どうしても参加する人は前日29日午後1時~7時又は30日4時30分まで受付の神社前大会本部に
参加費8500円(お預り)を
先着100名(切4月30日)
詳しくはスポーツ・エイドジャパン
TEL 049(294)5603
<http://sportsaid-japan.max.jp>
選手は皆、加茂城さんに泊ります
(佐久間里山通信員)

鳴呼、花の消防団

加茂支部第七分団奮闘記

春、とうとうこの季節がやってきました。新社会人、新入生とおめでたい時期です。そして我々消防団も、新入団員を迎え、新入団員に向けて練習を始める大切な季節です。新入団員の中には「知り合いもいるし、付き合いたいから仕方なく入団した」という人もいます。しかし、自ら進んで入団した人もいます。まあそれは各分団それぞれに特色があるでしょう。ていくものです。我々の分団といえは新入団員が一人入団してくれました。これからの活躍に大いに期待するところです。

さて、今年の操法大会、何処の分団が強いのか、又どの分団の誰が選手をやるのか気になるところなのですが、実をいうとこの記事を書いてるとき、私個人は自分の分団すら誰が何番員をやるのかもわからない有様です。

昨年は念願の県大会に出場した我が分団、優勝候補の一角に食い込ませていた。ただ、操法大会なので、簡単には勝たせてもらえないでしょう。各分団独自の練習メニューで効率も良くなっているようです。もしかしたら、優勝候補の分団には偵察部隊も出たりするのでしょうか? 私個人としては、とんりの芝居は見えないもの、と思うのです。昨年の失敗した部分をどのように修正するか各分団の団員で知恵を出し合い練習することで克服し、達成感を味わうことで結束が固くなるはず。熱が入りすぎてケガになることもありますが(笑)。練習に熱が入りすぎて怪我をしないようにすることも大切ですよ。大会当日に実力の半分も出せませんから。それどころか選手交替になつたら、せっかくの努力も報われなくなつてしまいます。怪我だけは本気で気をつけてください。それとほとんど毎晩のように練習するので疲れたまゝです。通勤や仕事に事故を起こさないようにしてくださいね。あなた一人の身体ではないのですから。ともかくにも今年も操法大会がやってきました。各分団、優勝目指して頑張りましょう。

(中村里山通信員)



今年の栄冠はどの分団に? (昨年の表彰式)

今年の栄冠はどの分団に? (昨年の表彰式)

大盛況! 加茂地区カラオケ大会



優勝トロフィーを手に熱唱の石井さん



沢山の賞品が根本支部長より手渡されました

第十六回加茂地区カラオケ大会(加茂支部観光部主催)が三月十八日、山口のブリックアン・ドウッドクラブを会場に行われました。二十八名の出場者と会場には百名以上の観客が集まり大盛況となりました。加茂地区のカラオケ熱はまだまた捨てたものではないようです。さらにゲスト歌手として神楽坂淳子さんを迎え大会に華を添えました。会場はゴルフ場のレストランというところもあり、満席でなごやかな雰囲気の中、皆さん美味しいお食事をしながらの素敵なひとときを満喫できたようです。大会は常連の実力者や歌姫達が苦戦を強いられる混戦となり、改めて加茂地区カラオケのレベルの高さを見せつけられました。

優勝争いは戸沢啓子さんと石井太一さんとデッドヒートとなり、僅差で石井太一さんに栄冠が輝きました。上位の結果は次の通りです。

優勝 石井太一さん
「北の漁場」
準優勝 戸沢啓子さん
「越前恋歌」
第3位 林 正可さん
「湯けむりの宿」
(里山共同通信)



新年号の宝船プレゼントは厳正な抽選の結果、田淵の通山崎枝様が当選されました。おめでとうございます。

おたより箱

第3号では大変多くの方よりご意見、ご感想が寄せられました。反響があるご意見にもうれしいものとスタッフ一同一層力がわいてきました。ここに紹介させていただきます。

*紙面の関係上、意見を交えない範囲で添削させていただきます。

「待つてました」里山通信(毎号妻と共に隅から隅まで読ませていただき、話題にさせていただいています。終の棲家をこの地に求めて十余年になりますが地域の行事や由来など諸事情は今でもわからないことが多いので情報源としての今後に期待しています。」(Y.A.)

「新年号の一面、読みにくいですね。一般新聞のように主題、副題などの形を工夫したほうが良いのでは。写真が少ないうえに少し気になりますね。今年は4回発行とのこと、楽しみにしています。」(M.T.)

「この他にも沢山の投書をいただきました。どうもありがとうございました。」

「自分はなにがどこまでできるだろう」なんて考えている暇はない。できる限りを全力投球。

情報提供:取材依頼はお近くの通信員へメールでも受け付けます(文末のアドレスへ)尚、紙面及び記事に関するご意見お問い合わせは市原商工会議所 市原市五井中央西1-2-25 TEL 292-43005

加茂支部担当 北 までEメールアドレスは kita@ccichiharachiba.jp

次回発行は夏号の予定です

編集後記



健康には充分気を付けてたよりにしてまっせ! 北さん!

はビデオ鑑賞の間違ひとの声もある。最近新車に買い換えて加茂へのドライブがさらに快適になってきたようだ。こんなに仕事をしながら家族も大変だとうと心配もしたが、ガンGTPが多少高いものの取りあえず元気!

春爛漫 田んぼの風景、山の新緑。里山も日々生命の息吹をみなぎらせていく。なんとなく元気を頂いているように感じるのは自分だけだろうか。

新聞の片隅で読んだが、どこかの大学の卒業式で、学長が神学者のジョン・ウエズリーの「行動の基準」から言葉を引用して、卒業生にエールを送った。うだが、新しいスタートを切る新学期にもふさわしいと思ひ、以前、雑誌から切り取った紙片を見返してみた。

君ができるすべての善を行へ

君ができるすべての方法で

君ができるすべての場所

君ができるすべての人に

君ができる限り

「自分はなにがどこまでできるだろう」なんて考えている暇はない。できる限りを全力投球。

情報提供:取材依頼はお近くの通信員へメールでも受け付けます(文末のアドレスへ)尚、紙面及び記事に関するご意見お問い合わせは市原商工会議所 市原市五井中央西1-2-25 TEL 292-43005

加茂支部担当 北 までEメールアドレスは kita@ccichiharachiba.jp